

桜 島

○火山活動度レベル

期間中の火山活動度レベルは 2 (比較的静穏な噴火活動)でした。

概 況

桜島南岳の噴火はありませんでした。

A 型地震は多い状態が続いており、地殻変動観測では昨年 11 月頃から各観測点間の距離の伸びがやや加速する傾向が見られ、今後火山活動が活発になる可能性があります。

噴火活動の状況

桜島南岳の噴火はありませんでした。

噴煙活動の状況

噴煙は白色または乳白色で、噴煙高度の最高は 17 日の 600m でした。

地震・微動活動の状況

震動観測点 B 点(南岳火口の北西約 2.3km)での火山性地震の月回数は、205 回(1 月：134 回)でした。このうち B 型地震は 172 回(1 月：98 回)でした(図 1 の)。

震源が求まった A 型地震は 29 回で、ほとんどが南岳火口周辺の深さ 3 ~ 5 km に分布しました(図 3)。

火山性微動は発生しませんでした(1 月：2 回)(図 1 の)。

降灰の状況

鹿児島地方气象台(南岳の西南西約 11km)の観測では、降灰はありませんでした(1 月 12g/m²) (図 2 の)。

地殻変動の状況

GPS による地殻変動観測では、11 月頃から各観測点間の距離の伸びがやや加速する傾向が見られます(図 4)。昨年 11 月 1 日から今年 2 月 28 日までの変化量は、黒神 - 野尻では 16.6mm、黒神 - 藤野では 15.8mm、野尻 - 藤野では 5.3mm の伸びが見られます。

火山機動観測による GPS 繰り返し観測は 2 月 15 ~ 18 日に 4 回目を行いました。鹿児島地方气象台を固定点とした各観測点の水平方向の動きは、これまでほぼ同じ方向を向いていましたが、今回は桜島を中心として放射状に 1 ~ 10mm 動いています。これは、桜島がわずかながら膨張していると考えられます(図 5)。

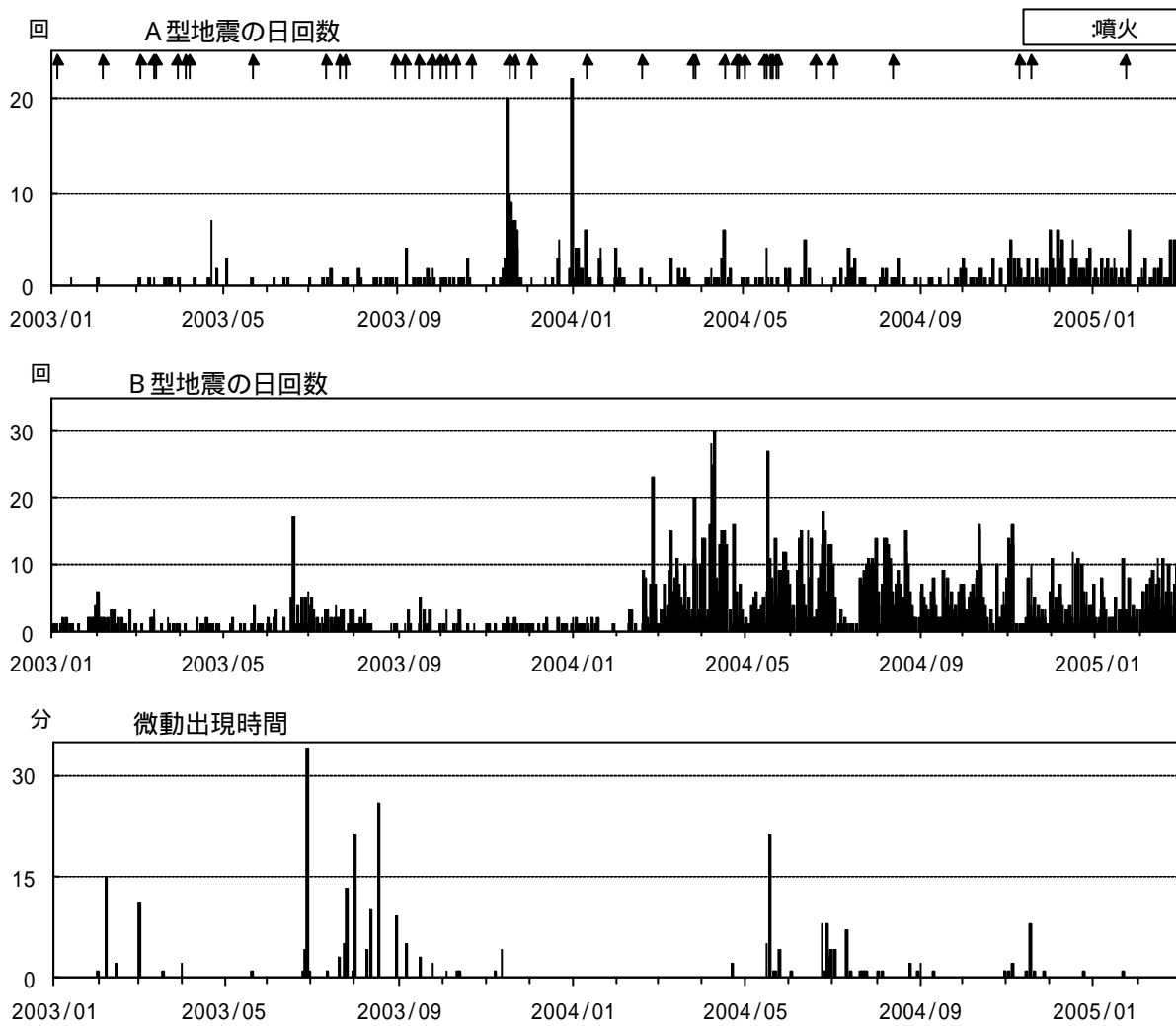


図 1 火山活動経過図(2003 年 1 月 ~ 2005 年 2 月)

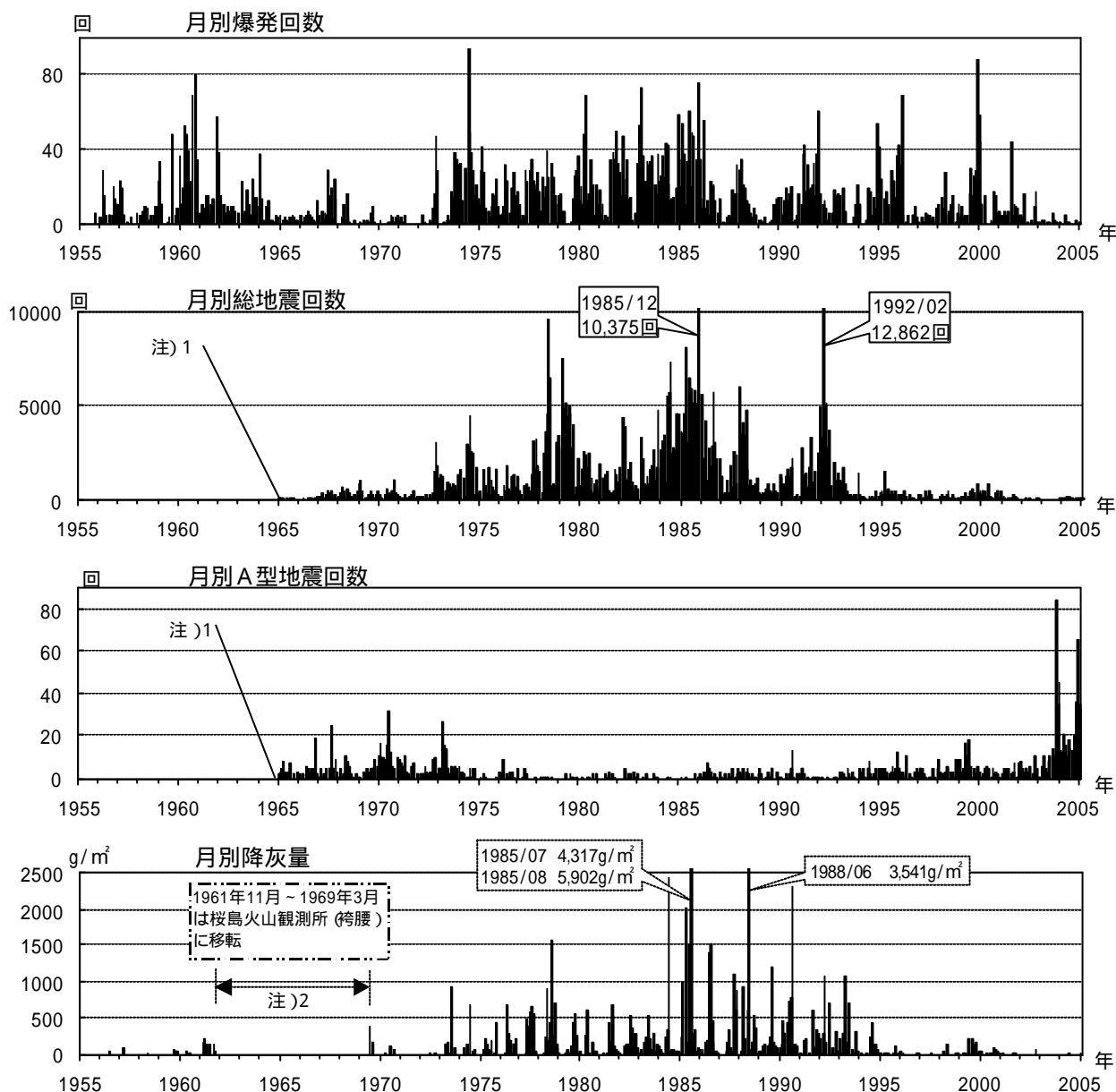


図2 火山活動経過図(1955年1月～2005年2月)

注)1：震動観測点A点における総地震回数およびA型地震回数は、1965年からのデータをグラフに示した。

注)2：气象台での降灰量の観測は1994年2月24日までは鹿児島市荒田1丁目、同年2月25日以降は同市東郡元町において行なわれた。なお、1961年11月から1969年3月までは桜島に観測所を移転したため降灰量の統計は中断した。

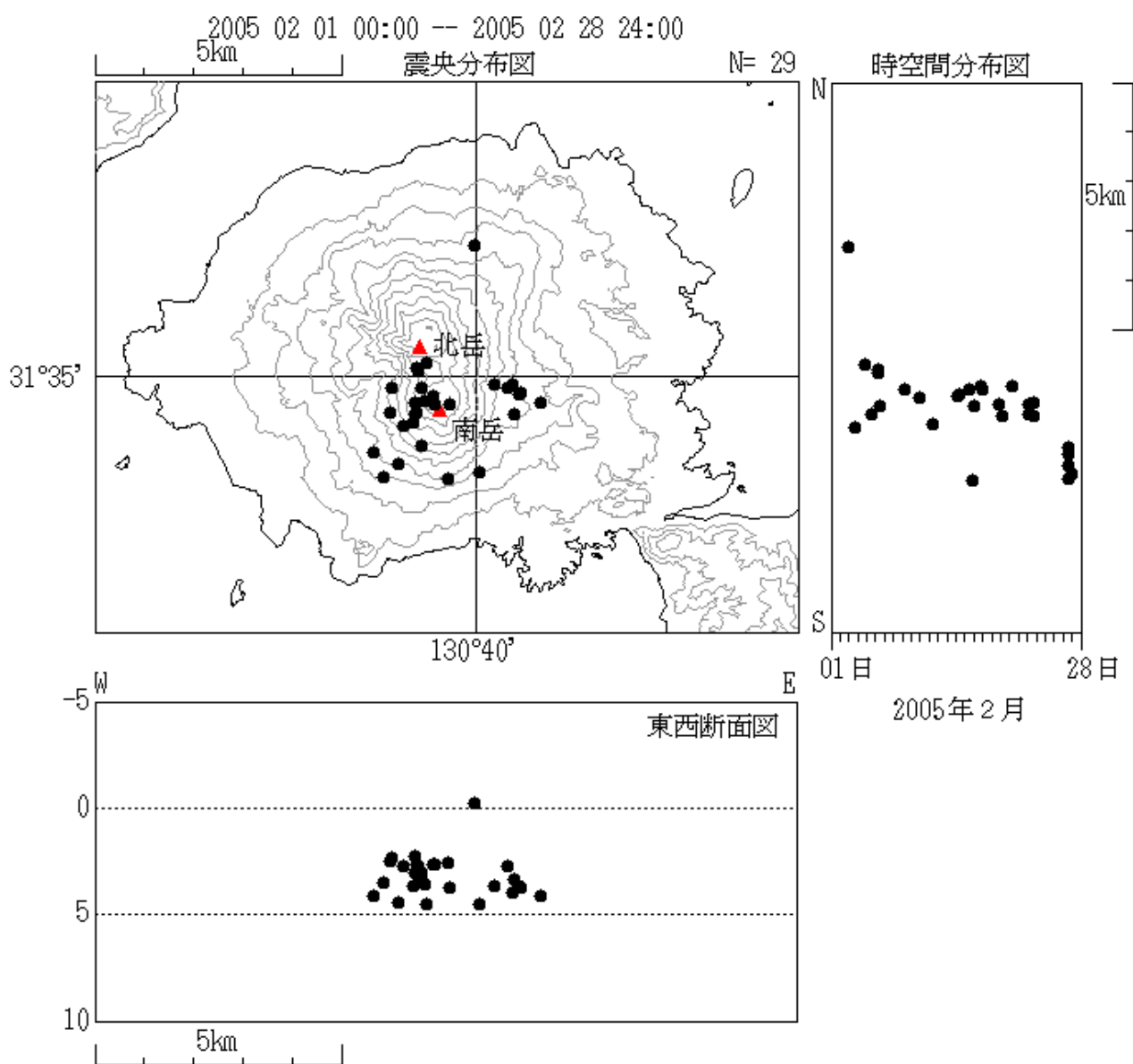


図3 震央分布図(上)と東西断面図(下)、時空間分布図(右)
(2005年2月1~28日)

本資料は、鹿児島大学、気象庁のデータを用いて作成している。

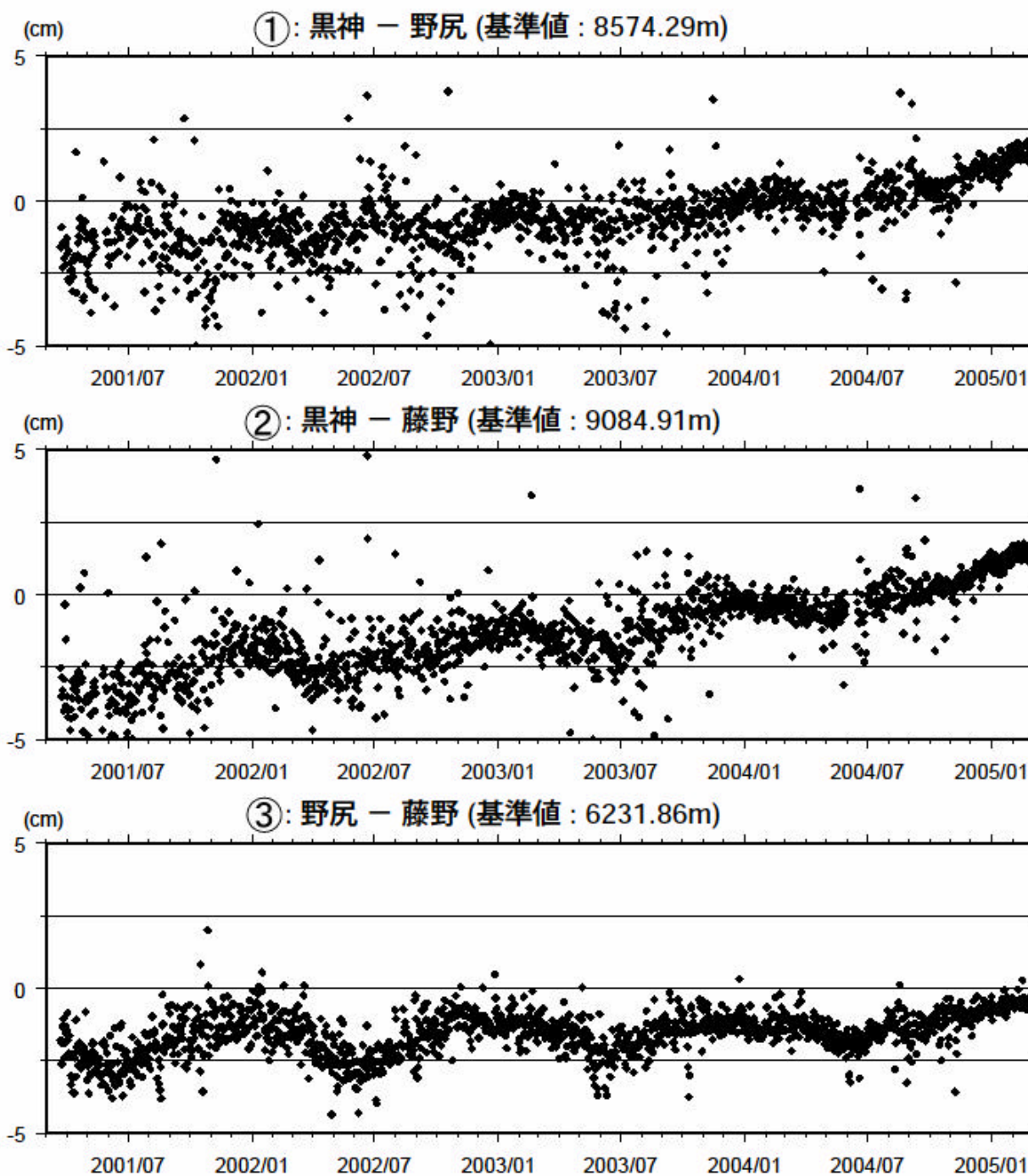


図4 GPSによる基線長変化(2001年3月22日~2005年2月28日)

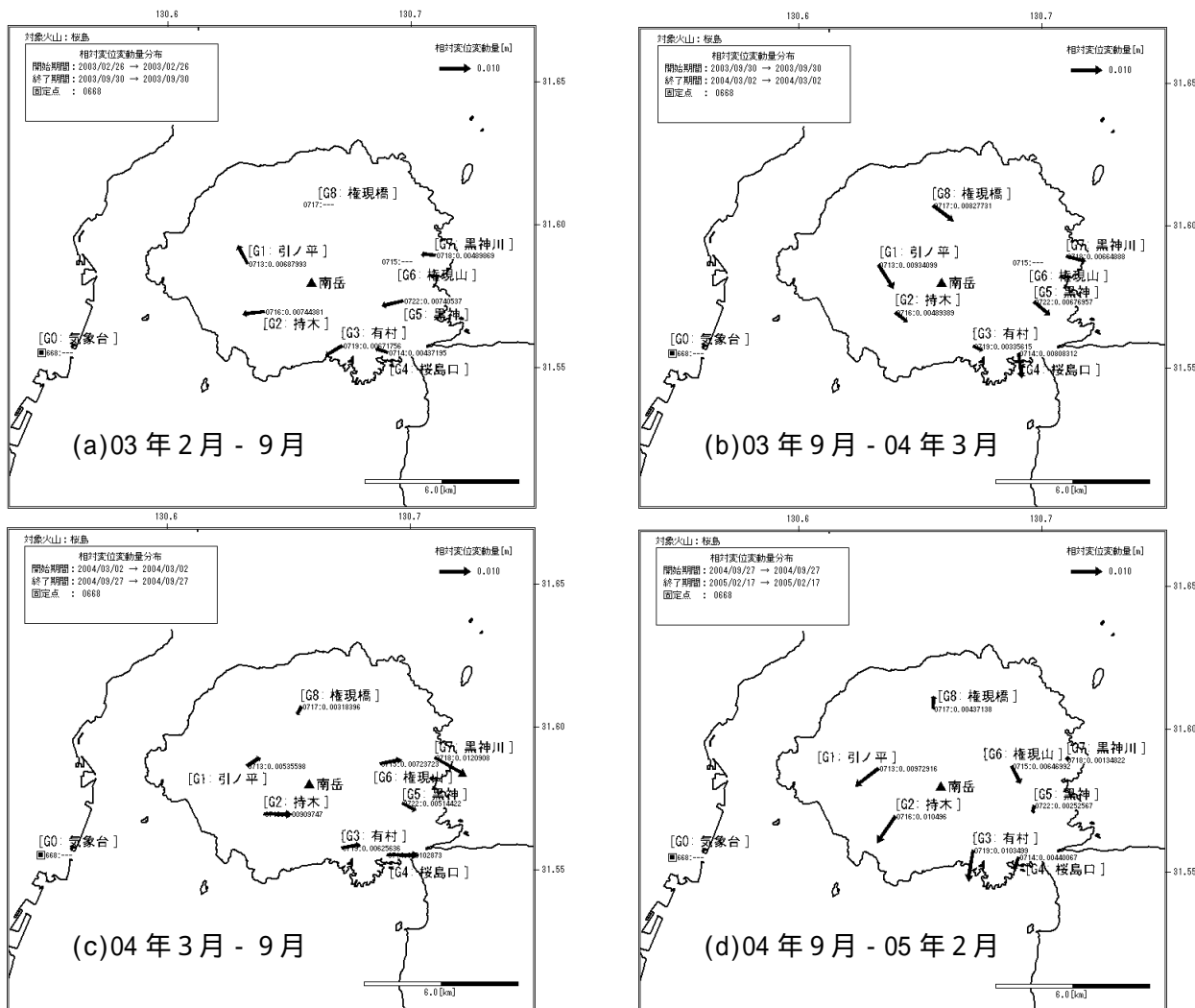


図5 GPS 繰り返し観測による各観測点の水平方向の動き

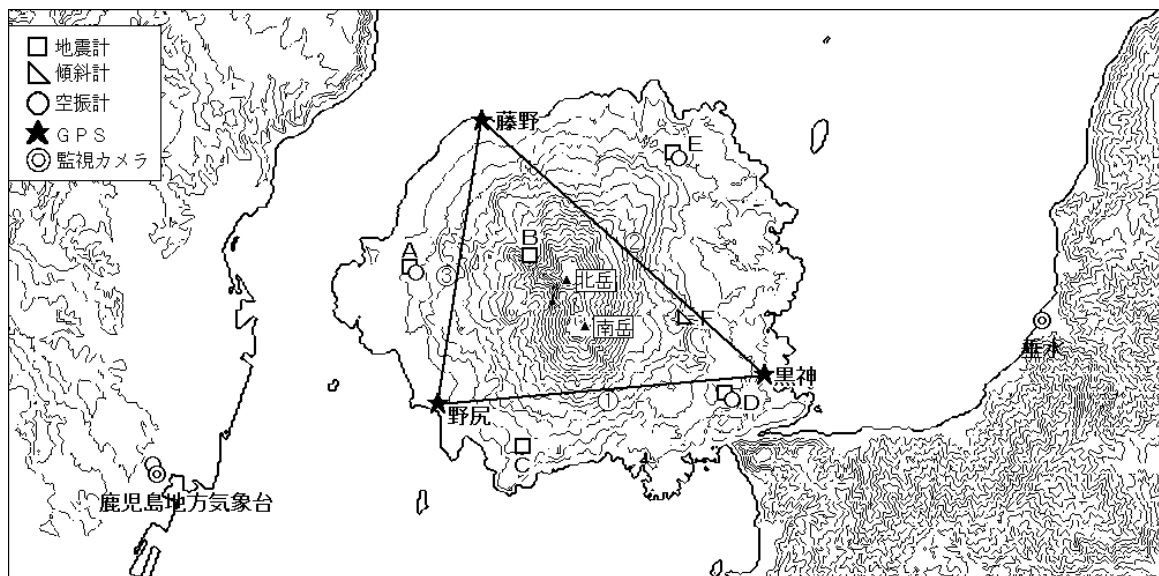


図6 観測点位置図